



Newsletter We are JUDOs

Renewal!

会報誌のタイトルが新しくなりました！
「JUDOsに関わってくださった人はみんなFamily。世界を柔道でつないでいこう！」というメッセージを込めました



ありがとう！

柔道衣寄贈数

10,000着を突破！

Contents

- ・国際柔道コーチングセミナーに7カ国・8人が参加
- ・世界で活躍するセミナー卒業生の「今」
- ・井上理事長が日中友好青島柔道館を訪問
- ・平塚ろう学校でデフリンピアンと交流
- ・デフリンピック東京大会の運営を支援



柔道の輪 世界の和

Friendship and Harmony through Judo

認定特定非営利活動法人 JUDOs(ジュードウズ)は、世界各国・地域で柔道指導者、選手の育成支援を行い、柔道およびスポーツを通じたより多様性ある豊かな社会の実現と世界平和のために活動する団体です。

日中友好青島柔道館感じた 受け継がれるレガシー



会員、支援者の皆さま方には日頃よりあたたかいご支援とご理解をいただき、誠にありがとうございます。今年度も会報誌をお届けできることをうれしく思います。

おかげさまで、6月9日に開催した総会において2026年度のすべての議案をご承認いただきました。今年度も皆さまとともに柔道を通した国際交流と社会貢献活動を展開してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

この総会から約2週間後の6月24日、中国・青島市にある日中友好青島柔道館を訪問することができました。

ご存じの方も多いと思いますが、日中友好青島柔道館は、山下泰裕先生が理事長を務めていたNPO法人柔道教育ソリダ

リティー（2019年解散）が中心となり、2007年、外務省「草の根無償資金協力」により、青島市、青島柔道協会の協力によって設立された柔道場です。開館以来、子どもから大人までたくさんの人が柔道を学び、日本からも多くの柔道家が訪れて交流を続けてきました。



本法人も設立以来、光本健次国際担教師範を中心に指導者派遣や選手・指導者受け入れ事業を続けています。また、館長の徐殿平先生や教え子の皆さんは、本法人の理念に賛同し、総会に毎年のようにご出席いただいています。

今回の訪問は私が国際柔道連盟スポーツ担当理事としてグランプリ青島の運営支援に入るため青島を訪れることになったことから、実現しました。当日は大勢の人が集まってくださり、子どもたちが元気な柔道演武を披露してくれたり、懇親会を開いてくださるなど歓待を受けました。この

Through JUDOs we have continued exchange programmed, dispatching instructors to the Qingdao judo hall including international instructor MITSU-MOTO Kenji, as well as hosting athletes and coaches here in Japan.

Furthermore Mr. XU Dening chairman of the dojo and his students share our organization's philosophy and are kind enough to regularly attend our annual meetings.

I was again warmly welcomed by a huge crowd who gathered for my visit. The children put on an enthusiastic show of their judo and the dojo organized a social event in my honor.

It was very special to feel a sense of

ような時間を過ごさせていただくのも、これまで日中の柔道家が交流を重ね、友情を紡ぎ、信頼関係を築いてこられたからにほかなりません。館内に息づく日中友好のレガシーを感じながら、心あたたまるひとときを過ごすことができました。

友好館滞在時間はわずかではありましたが、今回の訪問で私は柔道には国や言語、文化、宗教などあらゆる違いを超えて、人と人を結び力があることを改めて強く感じました。

世界が混迷を極めるなか、柔道の持つ力はますます注目され、果たす役割は大きくなっていくでしょう。本法人はこれからも、柔道の魅力と価値と伝え、多くの人と手を取り合いながら草の根の活動を続けてまいります。皆さま方におかれましては、引き続きあたたかいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

9月19日～10月4日まで愛知・名古屋アジア競技大会が開催されます。私は日本代表選手団団長を務めます。アジア競技大会の日本での開催は1994年の広島大会以来、実に32年ぶりです。ぜひご注目いただき、日本代表と大会へのご声援をお寄せくだいますようお願い申し上げます。

the legacy of the Japan-China friendship while being right there in the dojo with everyone.

This visit reaffirmed my belief that judo possesses the power to unite people and overcome any differences we have, be they nationality, language, culture or religion.

As the world continues to evolve in complex ways I am aware of the power judo possesses and I believe it is becoming ever more prevalent in this role.

Moving forward JUDOs will continue to promote the appeal and value of judo working together, hand in hand with others on grassroots projects.

I would kindly ask you all to please

山下泰裕JUDOs顧問からメッセージ

昨年10月に東海大の教壇に復帰された山下泰裕先生にメッセージをいただきました。

「1970年代、東海大学の湘南校舎で学生として学んでいた当時、大学創設者の松前重義先生が我々にいつも語っていたのが、世界を知り、世界に友人を作ることが世界平和の構築につながるということです。それは、柔道家であり、第二次世界大戦開戦を反対していた松前先生の『柔道 友情 平和』という言葉によく表れています。JUDOsがその精神を受け継ぎ、多くの皆さんに支えられながら活動していることをとてもうれしく思っています。私も顧問としてできる限りのことをしていきたいと思っています」



東海大学構内で山下顧問と一緒に写真に収まる井上理事長

continue to offer your dedication and understanding to our cause.

The Aichi - Nagoya Asian games are being held from September 19th until October 4th.

The Japanese team will be competing, and I will be attending as Chef de Mission. I hope you will follow the Games closely and cheer along both the national team and the event itself.

認定特定非営利活動法人 JUDOs

理事長

President

井上 泰裕

INOUE Kosei

JUDOs Certified Nonprofit Organization

主な活動 Key Activities (Apr 2025~Jun 2026)

2025 年 4 月 ~ 2026 年 6 月

2025

4月
April

フランス柔道連盟主催「指導者研修及び指導候補者への研修」を実施
オーストラリアの少年少女に柔道教室を開催
リサイクル柔道衣をタイ、ザンビア、ラオスに発送

5月
May

第7回通常総会、交流会を開催、スペシャル対談を開催
タイ・KMITLからの留学生を対象に柔道体験教室を実施
NPO法人judo3.0主催「横浜ビギナー親善柔道大会」に参加

6月
June

NPO法人judo3.0主催の「3.0オンラインカフェ」で活動紹介
ポーランドの少年・少女柔道チームに日本文化体験を実施
リサイクル柔道衣をミャンマー、タジキスタンに発送

7月
July

Kota's 柔道エクササイズを実施、ハロウ安比校に量を寄贈
直心館中西道場で英国からの柔道選手が国際交流
バングラデシュに指導者1名を派遣、柔道衣をコンゴ民主共和国等に発送

8月
August

全日本小学生柔道育成プロジェクトに学生を派遣
台湾での柔道交流を支援
中国・南京市溧水より男子柔道選手を受け入れ

9月
September

文京区わくわくスポーツまつりに学生を派遣
フランスとポーランドに、それぞれ指導者1名を派遣
柔道衣をブラジル、コロンビア、タンザニアに、量をポーランドに発送

10月
October

国際柔道コーチングセミナー2025を開催
Bunkyo Sports Parkに学生を派遣、中国山東省に選手2名を派遣
ウクライナジュニアチームの受け入れを支援

11月
November

デフリンピックの運営を支援、ホンジュラスに指導者1名を派遣
平塚国際交流フェスティバルに参加
リサイクル柔道衣をホンジュラス、バヌアツ、グアムに発送

12月
December

グランドスラム東京の運営を支援、グランドスラム東京でブース出展
高齢者の安全な転び方に関する国際カンファレンスの開催を支援
リサイクル柔道衣を南アフリカ、コソボ、アルジェリア、ミャンマー等に発送

2026

1月
January

リサイクル柔道衣をナミビアに発送

2月
February

リサイクル柔道衣をカンボジア、ホンジュラス、量をミャンマーに発送

3月
March

神奈川県立平塚ろう学校で柔道体験教室を実施
アイスランドに学生指導員1名を派遣
リサイクル柔道衣をインドネシア、ネパール、ブラジル、ミャンマーに発送

4月
April

NPO法人judo3.0主催「春日部ビギナー親善柔道大会」に参加
フランス柔道連盟主催「指導者研修会」を実施
リサイクル柔道衣をアルジェリア、コートジボワール、カンボジア等に発送

5月
May

タイ・KMITLからの留学生を対象に柔道体験教室を実施
リサイクル柔道衣をインドネシアに発送

6月
June

第8回通常総会を開催、Taiyo's 柔道エクササイズを実施
アゼルバイジャン柔道連盟主催「指導者研修会」を支援
リサイクル柔道衣をザンビアに発送



ろう学校で柔道交流授業を実施

実施日 2026年3月4日

会場 神奈川県立平塚ろう学校

講師 デフリンピック東京大会柔道日本代表

衣川暁さん(女子70kg級3位、同団体3位)

佐藤正樹さん(男子66kg級5位、同団体3位)

水堀瑞紀さん(男子90kg級3位、同団体3位)

派遣 東海大学学生・JUDOs国際コーチングセミナー修了生

助成 平塚市市民活動推進補助金事業

講話要旨

衣川選手／社会人になってから柔道を再開した経験を話しながら、「どんなことでもいいから必死に頑張る経験をしてほしいと思います。結果はどうかかわからないけれど、何か必ずついてくるものがあるはずです」

水堀選手／「みっちーと呼んでください」と挨拶してリラックスモードにしつつ、自身の生い立ちをわかりやすく紹介。「柔道は一人ではできないところが魅力。柔道のおかげで礼儀正しい人間になれたと思っています」

佐藤選手／「社会に出たとき、自分の障がいをご説明するか考えたことがありますか?」と語りかけ、生徒と一緒に考えながら講話を進行。「どんな人も平等に幸せになる権利があります。困難を乗り越えれば彩りのある人生となると思います」

児童・生徒の皆さんの感想

「じゅう道着をはじめて着て強くなった気持ちになりました」(小学部)

「さいしよはちょっときんちょうしましたが、だんだん慣れていきました。もっとじゅうどうのべんきょうをしたいと思いました」(小学部)

「ずっとやってみたかった柔道をやることができました。背負い投げをやってみたら褒められてうれしかったです」(中学・高等部)

平塚ろう学校での交流授業は2024年度に続いて2回目。2025年度は学校からの要望に応え、中学・高等部に加えて小学部でも行いました。児童、生徒の皆さんは“見る力”が高く、投げ技体験では講師がお手本を見せるとすぐにコツをつかんでどんどんチャレンジ。講師3名による講話とともに柔道の魅力をたっぷり伝えることができた1日となりました。

当日スケジュール

小学生の部 | 24名

11:10 衣川選手のおはなし

11:40 柔道あそび

12:05 質疑応答

12:20 日本代表選手と給食

中高生の部 | 30名

13:25 柔道体験教室

13:40 佐藤選手・

水堀選手の講話

14:10 柔道体験

14:55 質疑応答



東京2025デフリンピック 柔道競技の運営を支援

第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025 (25th Summer Deaflympics Tokyo 2025) が2025年11月15～26日に行われ、77カ国・地域、ろう者個人中立選手、デフリンピックチームが参加し、21競技で熱戦が繰り広げられました。本法人では柔道競技にスタッフを派遣し、大会運営をサポートしました。



What's the Deaflympics?

4年に一度行われる国際ろうスポーツ協会主催の聴覚障害のある人のための国際スポーツ大会。日本では初開催でした



JUDOsが柔道衣支援や指導者派遣を続けてきたネパール・カトマンズのデフ道場から、ラッキー・チャウダリー選手とスシュマ・タマン選手がに出場。大会会場で記念撮影



大会期間4日間は泊まり込みで運営を支援。早朝から夜まで、東海大学職員の御手洗みどりさん、原口直也さんとともに大会運営をサポート

期 間 2025年11月14日～18日

会 場 東京武道館 (東京都足立区)

派 遣 JUDOs スタッフ5名

内 容 柔道衣コントロール補助、選手誘導・招集
競技運営補助

運営支援は大会前日の計量やリハーサルから参加。計量では本法人と関わりのある日本代表やネパールの代表選手にも会うことができ、応援の気持ちを伝えることができました。支援業務は全日本柔道連盟、東京学生柔道連盟、日本体育大学、明治大学、順天堂大学、帝京科学大学、早稲田大学柔道部の皆さんと協力して行いました。



柔道衣コントロール



案内の紙を使って選手誘導



補聴器をつけていないことの確認



男子団体戦を見守る日本代表選手

御手洗 みどりさん (東海大学職員)

緊張感を生で感じる体験に

「試合会場への第一歩目の場所にいたので、選手達の大会にかけける意気込みや、緊張感を生で感じる事ができました。スポーツ大会のお手伝いは初めてでしたが、少しでも大会運営に関わることができて、有意義な時間を得ることができました。感謝しています」

原口 直也さん (東海大学職員)

手話による独特の一体感がありました

「選手や監督、スタッフが手話等で自然にコミュニケーションをとり、聴覚に頼らない独特の一体感が生まれていました。視覚的な合図だけで集中する選手の姿には深い感動がありました。誰もが参加しやすいスポーツのあり方をより深く考えるきっかけになりました」

川戸 円 (JUDOs職員)

美しく見えた手話の拍手の表現

「試合場の横で選手誘導を担当。試合場側から観客の皆さんが手話で拍手を送る(両手を顔の横にあげてひらひらさせる)様子が見えたので、まるで観客席に花が咲いたようでとても美しかったです。選手を応援する皆さんの気持ちが伝わり、胸が熱くなりました」



ウクライナ・ジュニア選手団を受け入れ



ウクライナの青少年を対象にした柔道キャンプが日本で継続して行われています。これに学生を派遣し、運営サポートにあたりました。

受入期間 2025年10月5日～9日

依頼者 (公財)全日本柔道連盟

参加者 ウクライナジュニア選手団20名

活動内容 合同練習・体育祭・文化交流

派遣 東海大学柔道部学生2名

関 優樹 (体育学部武道学科4年)

初めて知った、戦争の現実

ウクライナの方から戦争の現状を直接伺い、その表情から言葉では表せない苦しみや悲しみを感しました。日本で安心して柔道に打ち込める環境が決して当たり前ではないことを実感するとともに、言葉が通じなくても柔道を通じて心が通い合うことができる、その大きな力を改めて感じました。

岸田 耕平 (体育学部武道学科4年)

逆境に立ち向かう強さに学ぶ

歓迎セレモニーで戦況映像を見て涙を流す選手たちの姿や、飛行機の音に恐怖を感じる様子から、戦争が人々の心に残す深い傷を痛感しました。それでも目標に向かって努力を続ける選手たちの強さに心を打たれ、柔道を通じて人と人をつなぐ活動に携われたことを誇りに思いました。



タイの交換研修員が柔道を初体験!



東海大学とのコラボレーション事業の一環として、昨年に続き、タイのモンクット王工科大学ラートクラバン校 (KMITL) の学生を対象に実施しました。

タイの学生の感想

参加者は初めて柔道を体験した人がほとんどでした。「新しい動きを学べて新鮮だった」「難しかったけれど人を投げることでできて楽しかった」「投げられるのも思ったほど怖くなかった」など、短時間ながら柔道の魅力を味わった感想が寄せられました。

朝飛太陽コーチの感想

柔道の魅力を届けられた喜び

タイの学生が積極的に取り組んでくれたおかげで、私自身も楽しく指導することができました。東海大学柔道部の学生の協力もあり、温かい雰囲気の中で交流ができました。参加者の「また柔道をやりたい」という言葉が何より嬉しかったです。

開催日 2026年5月22日

対象 タイからの交換研修員19名

依頼者 東海大学学長室(国際担当)

講師 朝飛 太陽(JUDOsアシスタントコーチ)

協力 東海大学柔道部学生8名





学生指導員、アイスランドで挑戦！



アイスランドの柔道クラブに学生指導員を派遣しました。現地の柔道家と稽古を行いながら、技術指導や交流活動に取り組みました。

派遣期間 2026年3月2日～4月1日

派遣先 Judofélag Reykjanesbæjar (JRB) アイスランド

派遣者 塩谷 颯大 (東海大学男子柔道部)

活動内容 技術指導・合同練習・交流活動

塩谷 颯大 (体育学部生涯スポーツ学科3年)

柔道がつかないアイスランドとの絆

出発1週間前という急な決定で始まったアイスランド派遣でしたが、柔道を通じて現地の人々と深く交流できた1か月は、私にとってかけがえのない経験となりました。生徒たちはとても熱心で、私の拙い英語も一生懸命理解しようとしてくれ、その温かさに何度も励まされました。最後のレッスンでは、別れを惜しんで涙を流す子どもたちの姿に胸が熱くなり、私自身も涙をこらえるほどでした。文化や言語が違って、柔道には人と人の心をつなぐ力があることを実感しました。この経験を今後の柔道人生や国際交流活動に生かしていきたいと思っています。

Sota (颯大) はとても優しく、一緒に活動できたことを嬉しく思いました。柔道への真摯な姿勢と礼儀正しさは素晴らしい、ご家族や指導者、そしてJUDO'sの皆さんに心から感謝しています。



JRBのジョージ・フンタキス先生は、柔道教育ソリダリティーのコーチングセミナーの修了生で、本派遣はそのつながりから実現しました



平塚柔道協会で柔道国際交流



開催日 2026年3月26日

対象 平塚市柔道協会 小・中学生 約50名他

講師 マイケル・ミラー (カナダ)

協力 岸田 耕平 (東海大学柔道部)

マイケル・ミラー (国際柔道コーチングセミナー2023修了生)

学ぶ姿勢から感じた日本の柔道

日本の子どもたちや東海大学の学生と交流できたことは、とても貴重な経験でした。特に印象に残ったのは、子どもたちの学ぶ意欲です。ゲームやエクササイズにも積極的に取り組み、すぐに内容を理解して挑戦する姿勢や、柔道への情熱に感心しました。今回学んだ日本の青少年への指導方法を、カナダに戻ってからの指導にも生かしていきたいと思っています。



直心館中西道場で楽しく交流！



開催日 2025年7月3日

対象 直心館中西道場小・中学生6名他

参加者 デル・イムリ (イギリス・スコットランド)

協力 石崎 皇丞 (東海大学柔道部)

デル・イムリ

安全で楽しい柔道を大切に

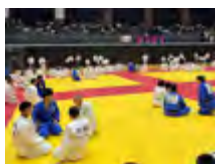
日本の子どもたちと一緒に柔道ができ、多くの学びがありました。私が大切にしている「安全で楽しい柔道」を実践でき、日本の道場で得た経験をスコットランドでの指導にも生かしていきたいと思っています。



全日本小学生育成プロジェクト2025をサポートしました



全国各地から小学6年生約110名が参加。派遣された学生は、準備体操や練習試合の進行、講師の先生の受けを担当したほか、ゲーム形式のプログラムでは子どもたちと一緒に体を動かし、楽しい時間を過ごしました。



感想

本田 万結 (体育学部武道学科3年)

小学生たちの楽しんでいる姿を見て元気もらいました。楽しかったです！

市村 煌大 (体育学部武道学科2年)

小学生の元気な姿を見て勇気をもらうことができました。ありがとうございました。

横山 七海 (体育学部武道学科2年)

講師の田中志保さんの受けなど貴重な経験をさせていただきました。

河南 信太郎

(情報理工学部コンピューター応用学科1年)

初めて参加させていただき、自分の柔道を学び直すきっかけにつながり、大きな学びを得ることができました。

実施日 2025年8月24日

会場 横浜武道館 (神奈川県横浜市)

依頼者 全日本柔道連盟

派遣 東海大学柔道部学生9名、
卒業生1名、JUDO'sスタッフ2名

内容 プロジェクト全体のサポート



第9回わくわくスポーツまつりに学生とコーチを派遣



5歳～9歳までの柔道未経験の子ども約120人が1回25分のセッションに分かれて柔道を体験。学生は、講師の小林幹佳さんと増田沙由美さん(全柔連)をサポートしながら子どもたちとじっくり柔道を楽しみました。

感想

鹿 歩夏 (体育学部武道学科4年)

柔道未経験者の子の技を受けてみて、柔道に向いている子も多かったので、今日を機に柔道を始めてほしいな、と思いました。

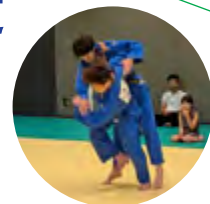
太田 栄士

(文学部歴史学科考古学専攻3年)

普段柔道をしているだけでは感じられないような、柔道をやったことがない人の予測不能な動きが面白かったです。

山岡 弘昌 (体育学部体育学科3年)

柔道経験のない子を教えてみて、受け身や技を教えることの大変さを感じることができました。



実施日 2025年9月15日

会場 東京都文京区スポーツセンター

依頼者 全日本柔道連盟

派遣 東海大学柔道部学生6名、
コーチ1名、JUDO'sスタッフ3名

内容 柔道体験教室運営サポート

ひらつか国際交流フェスでパフォーマンス!



実施日 2025年11月16日
会場 平塚市総合公園 野外ステージ
派遣 東海大学男子柔道部7名
 JUDOスタッフ1名
内容 JUDO活動紹介、柔道演武等

ひらつか国際交流フェスティバルに参加し、爽やかな秋晴れの空の下でパフォーマンスを実施。JUDOの紹介をしたり、受け身や技の演武、技体験などを行い、柔道の魅力を元気に楽しくアピールしました。

平野 暖 (体育学部生涯スポーツ学科4年)

初めてステージ上で柔道演武を行いました。観客の皆さんが温かく見守ってくださり、自分たちが納得いく演武ができたと思います。



GS東京2025の大会運営を支援しました



期間 ①2025年12月4日～7日
 ②2025年12月6日～7日
会場 東京体育館 (東京都渋谷区)
依頼者 全日本柔道連盟
派遣 ①JUDOスタッフ4名、東海大学卒業生1名
 ②東海大学学生+卒業生11名

グランドスラム東京の大会運営を2025年度もサポートしました。大会準備には事務局から4名と、卒業生1名が参加。ADカードの発行、計量、柔道衣コントロール補助等を行いました。大会開始後は学生たちも加わり、IJF役員や審判員、コーチの対応など幅広い業務を担当しました。JUDO派遣メンバーのホスピタリティあふれる対応に今回も各国関係者からお褒めの言葉をあちこちでいただきました。

Bunkyo Sports Park 2025の運営を支援



実施日 2025年10月13日
会場 東京都文京区スポーツセンター
依頼者 全日本柔道連盟
派遣 東海大学男子柔道部5名・卒業生1名
 JUDOスタッフ1名
内容 柔道体験教室運営サポート

パラスポーツやeスポーツなども体験できるスポーツフェスで、約150名の子どもたちと保護者を対象にした柔道体験をサポートしました。



畳と柔道衣がつなが、笑顔と未来

リサイクル柔道衣・畳寄贈事業

Donation of Judogi and Tatami Mats

日本全国から使われなくなった柔道衣と柔道畳を譲り受け、世界各地へ寄贈する事業を行っています。2025年度は、柔道衣1,101着、柔道畳370枚を22カ国・地域に届けることができました。このうち柔道衣537着は、海外へ渡航する方に手荷物で運搬していただきました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました! (累計数は下表のとおり)



2025年度は346の個人・団体から、830着の柔道衣の寄付がありました。ありがとうございました!



手荷物で運搬スペシャルプロジェクト



船便等で輸送



外務省との協働



全日本柔道連盟との協働



国際協力機構(JICA)との協働



アルバニア

Albania



畳 55 枚

旧豆蔵柔道クラブ道場（東京都練馬区）で使われていた柔道畳を寄贈しました（現在の道場名は大青柔道クラブ）。



ネパール

Nepal



17 着

NECOS 柔道大会支援のため渡航したデフィール(株) 須貝等社長が、カトマンズのデフ道場等へ柔道衣を運搬してくださいました。



コートジボワール

Côte d'Ivoire



13 着

本法人HPを見て問い合わせくださったアノン誠司さんが運搬。幼少時に通っていたアビジャンの柔道クラブへ届けられました。



2025年度寄贈実績



1,101 着

うち手荷物での運搬



537 着

畳 370 枚

22 の国・地域に寄贈

アジア 8カ国

アフリカ 7カ国

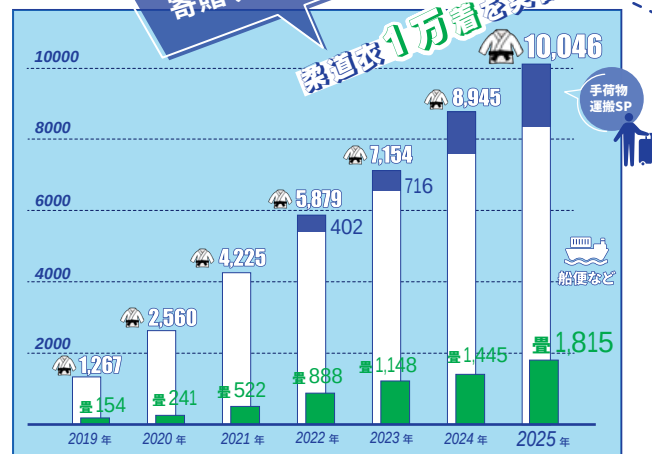
中南米 3カ国

オセアニア・太平洋 4カ国・地域

ザンビア・メヘバに届けていただいた柔道衣を着て大会に出場!



柔道衣・畳の寄贈 累計数





カンボジア

Cambodia



29着

日本マスターズ柔道協会の皆さんがシェムリアップの敬郷館道場とプノンペンのカンボジア柔道連盟道場に柔道衣を運んでくださいました。



ホンジュラス

Honduras



22着

JICAホンジュラス事務所の依頼で派遣した中村美里さん、岩本莉樹さんが運搬。小中学校や滞在中に開催された大会優勝者に柔道衣が贈られました。



東ティモール

Timor-Leste



10着



インドネシアで柔道指導中の安齋俊哉さんが、指導のために東ティモールを訪れる際に運搬してくださいました。



一着一着に思いを込めて

Packing in Japan

東海大学柔道部の国際貢献担当が、日本国内での柔道衣の梱包や柔道量の搬出入など、寄贈活動を支えています。



グアム

Guam



11着

光本健次・本法人国際担当師範が指導のための渡航時に運搬しました。寄贈先の不動心道場は光本師範の教え子マイケル・コーンさんが指導者を務めています。



ザンビア

Zambia



28着

柔道を通じた国際協力を行う学生団体「yaWAra」の協力によりメヘバ難民キャンプに届けていただきました。



ブラジル

Brazil



9着

Franciele Caroline Terenziさんが本法人SNSを通じて柔道衣運搬を申し出てくださって寄贈が実現。ペドレイラにあるFudoshin柔道クラブへ届けられました。





タジキスタン

Tadjikistan



柔道人気が高まっているタジキスタンへ芦田弘毅さんが出張時に手荷物で運搬し、ドゥシャンベの柔道クラブへ届けました。

芦田弘毅さん(中央)



カンボジア

Cambodia



カンボジアで社会支援活動をしている根津あやさんがICS2024修了生ヘン・リリーさんが所属する道場に運んでくださいました。

根津あやさん(右)



コンゴ民主共和国

Dem. Rep. of the Congo



芦田将輝さんが2025年7月、JICAの派遣により柔道指導に訪れた中村美里さんの助手として同国を訪問。その際に運搬していただきました。

芦田将輝さん(成田空港にて)



ミャンマー

Myanmar



認定NPO法人セカンドライフの村田幸平さんが前年度に続いて同国への支援にあわせネピドーで活動中だった平沼大和さんのもとへ運んでくださいました。



スリランカ

Sri Lanka



横山国立大学「柔友会」の北村慶貴さんが昨年度に続いて運搬していただきました。寄贈先は5つの道場。今年度もありがとうございました！



東海大学で柔道衣を受け取る北村慶貴さん(左)



タンザニア

Tanzania



1987年から同国の人々とともに生き、柔道指導を行う島岡強さんが輸送費を負担し、寄贈が実現。

ペンバ島で柔道をしている子どもたちに届けられました。



コソボ

Kosovo



柔道衣の運搬の様子

コソボで柔道指導中の横山智恵さん(ICS2024アシスタントコーチ)の紹介で同国駐在中の井上さんが運搬。7つの道場に届けられました。



Sankaku柔道クラブ



Polici柔道クラブ



Prishtina柔道クラブ



Kastrioti柔道クラブ



Llapi柔道クラブ



Irepça柔道クラブ



Gjilani柔道クラブ



バヌアツ

Vanuatu



199着



外務省と全柔連のご協力のもとスポーツ外交推進事業の一環として、2025年11月に発送、無事到着しました。同国では柔道人気が高まっています。



ポーランド

Poland



畳152枚



ICS 2024修了生のバルテックがグダニスクで主宰する道場に届けられました。送料をポーランドの柔道仲間たちが出しあい、大勢の人の協力で寄贈が実現しました。



インドネシア

Indonesia



24着

ジャワ島にある PJSI Brebes Regency クラブに寄贈。
Wandi Prasetyo さんから問い合わせいただき同国に帰国される方が運んでくださいました。



アルジェリア

Algeria



19着

朝飛道場（神奈川県）に通うベリッチュさん一家から「運べます」との連絡をいただき全柔連とアルジェリア柔道連盟を通じて同国へ寄贈しました。



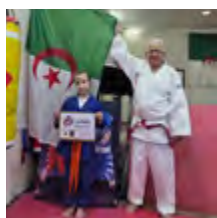
アルジェリア

Algeria



13着／24着

ヨーロッパ在住アルジェリア人柔道家連合のSEDDIKI会長が昨年に続いて運搬。
今年は東部のセティブ市にある道場の子どもたちに届けられました。



パラオ

Palau



53着

東海大学海洋調査研修船「望星丸」により2026年3月、柔道衣と畳のストッパーが運ばれました。
乗船した学生の皆さんにご協力いただきました。



望星丸に乗船する学生の皆さんが柔道衣とストッパーを受け取り
出向時に船まで手で運搬してくださいました



ブラジル

Brazil



25着

リリアン・ユキエ・フルウチさんが帰国時に運搬。
サンパウロ近郊のモジ・ダス・クルゼス柔道クラブに届けていただきました。



首都コロールのパラオ国立体育館にて行われた寄贈式。現地新聞にも大きく取り上げられました



柔道衣の寄贈式の翌日には、望星丸の甲板の上でJICA海外協力隊でパラオで活動中の田畑翔太郎（東海大学OB）さんが形の演武を行いました



国際柔道コーチングセミナー2025



世界各国の指導者を対象に行う国際柔道コーチングセミナー。2025年度は7カ国8名が参加し、約1カ月間にわたって行いました。指導者たちは日本に滞在しながら、実技と座学、出稽古や研修旅行等により、日本柔道の指導法や、指導者として身につけるべき技術と知識を学びました。今回も参加者全員が全日程を完走。本法人から修了証を授与しました。

開催期間 2025年10月7日～11月3日

参加者 7カ国8名

アゼルバイジャン／ガボン／サウジアラビア／スペイン／ポーランド
ミャンマー／ラトビア

メイン講師 光本 健次(本法人国際担当師範)

特別講師 藤井 裕子(本法人理事／元ブラジル男子代表監督)

ご協力いただいた皆様

東海大学、講道館、全日本柔道連盟、直心館中西道場、国際友好会館、大青柔道クラブ、神奈川県柔道連盟、日本文化大学、志茂柔道クラブ、東海大学付属相模高等学校・中部部柔道部、松前柔道塾、横須賀学院高等学校、朝飛道場、笑顔道東海大学前駅の接骨院・はり灸院、魚春（訪問順）

主な研修内容

指導技術講習、国際審判講習、投の形、講道館柔道の歴史、スポーツテーピング、リハビリテーション、メンタルトレーニング、剣道体験教室、スタディーツアー京都・広島、柔道整復・鍼灸講習、嘉納治五郎ゆかりの地訪問（永昌寺、氷川丸、八柱霊園）、東海大学バスケットボール部試合観戦

セミナーが目指すもの

- 1) 柔道指導の専門知識を身につけ、柔道の技術と魅力を広く人々に伝えられる人材の育成
- 2) 柔道の普及と発展のため、それぞれの置かれた環境でリーダーシップを発揮する人材の育成
- 3) 国・人種・宗教・政治・文化などの違いを超え、「精力善用」「自他共栄」の精神のもと、柔道を通じた社会貢献と世界平和に寄与する人材の育成

PROGRAM (全28日間)

10/5(日)	事前研修 ※光本師範によるアシスタントコーチらの事前研修
10/6(月)	
10/7(火)	参加者来日
10/8(水)	形講習、柔道の歴史、講道館長表敬訪問 国際審判法、永昌寺
10/9(木)	開校式、東海大学オリエンテーション、 同大学体育学部長表敬訪問、光本レッスン
10/10(金)	初心者指導法(講師：中矢力) 光本レッスン
10/11(土)	光本レッスン
10/12(日)	光本レッスン 東海大学バスケットボール観戦
10/13(月)	OFF
10/14(火)	光本レッスン、リハビリテーション メンタルトレーニング
10/15(水)	光本レッスン、東海大学付属相模高等学校
10/16(木)	NTC(味の素ナショナルトレーニングセンター) 豆蔵柔道クラブ(現：大青柔道クラブ)
10/17(金)	光本レッスン、松前柔道塾
10/18(土)	光本レッスン、剣道体験
10/19(日)	光本レッスン、志茂柔道クラブ
10/20(月)	OFF
10/21(火)	スタディーツアー(京都・日本文化研修)
10/22(水)	スタディーツアー(広島・平和研修)
10/23(木)	光本レッスン、横須賀学院
10/24(金)	スポーツテーピング、氷川丸、朝飛道場
10/25(土)	知的障がい者(ID)柔道練習会
10/26(日)	光本レッスン
10/27(月)	藤井裕子レッスン
10/28(火)	藤井裕子レッスン
10/29(水)	光本レッスン、井上康生レッスン、修了式
10/30(木)	柔道整復・鍼灸体験、直心館中西道場
10/31(金)	OFF
11/1(土)	八柱霊園、講道館杯運営視察
11/2(日)	講道館杯観戦
11/3(月)	参加者帰国



井上康生理事長による指導



藤井裕子理事による指導

光本レッスン - 光本師範による実技講習 -

2025年度も光本師範による実技講習を中心に実施しました。レッスンの特徴は基本の徹底と反復、そして「何でも活用」。基本を学ぶためのさまざまな練習法と、道具や環境を活用しながら、面白くて飽きさせない稽古を行うことが大事、という考え方が伝授されました。



投の形



国際審判法



永昌寺



剣道体験



スポーツテーピング法



リハビリテーション法



メンタルトレーニング法



氷川丸



柔道整復師・鍼灸体験



八柱霊園



東海大学付属相模高等学校



豆蔵柔道クラブ(現:大青柔道クラブ)



松前柔道塾



志茂柔道クラブ



横須賀学院高等学校



朝飛道場



ID柔道練習会



直心館中西道場



平和研修(広島)



講道館杯視察



ESCINSKIS Aleksandrs
レシンスキス・アレクサンドルス
ラトビア 

初日から最終日まで、すべてにおいて素晴らしいセミナーでした。研修先は多岐にわたりましたが、例えば松前柔道塾は、指導者のレベルも高く、礼儀、努力、そして成長への意識に満ちており、柔道の精神そのものがあると感じました。基本と応用をバランスよく組み合わせた体系的な指導が行われている面においても、別の日に訪れた豆蔵道場と共通しているものがあると感じ、どちらもとても学びやすいプログラムであると感じました。東海大学での練習、高校への訪問、井上康生先生、藤井裕子先生の講習も印象に残っています。全体として稽古の負荷、打ち込みの重要性、さまざまな状況を想定した実践練習について、セミナー前より意識が高まりました。



ALQAHTANI Ali Yahya A
アルカフタニ・アリ・ヤヒヤ・A
サウジアラビア 

全体を通して大変満足のいくものでした。各セッションの内容は充実していて、参加しやすい魅力的でした。経験豊富な指導者の先生方から学べたことや、さまざまなバックグラウンドを持つ参加者と意見交換ができたことを高く評価しています。セミナーに参加したことで、私自身にいくつかの大きな変化がありました。重要な概念について、より明確に理解できるようになり、それらを実践に落とし込むための、より体系的な考え方を身につけることができました。また、自信を高めてくれたのと同時に、学び続けたいという意欲を強く刺激してくれました。他の参加者と出会えたことで視野が広がり、貴重な人脈を築くことができたことも大きな収穫です。



MOUROU Carl Randale Tanguy
ムールー・カール・ランデル・タンギ
ガボン 

今回、JUDOに参加者として選んでいただいたことを大変光栄に感じました。日本人の文化や生活様式にはとても感銘を受けました。日本人の妻がいるにもかかわらず、改めてその素晴らしさを強く感じました。柔道が日々の稽古を通じて私たちに伝えている価値を理解することができました。また、物事に対する規律と厳しさ、そして他者への相互の敬意が、あらゆる場面で大切にされていると感じました。広島市の平和記念資料館を訪れたことも忘れがたい経験です。人生において「ゆるすこと」がいかに大切であるかを学び、日本人が命をとっても大切にしているという深い価値観を理解することができました。



SANCHEZ LLANES Felipe
サンチェス・ジャネス・フェリペ
スペイン 

柔道の原点に立ち返るような経験となりました。私が子どもの頃に指導を受けていたコーチは日本の柔道から強い影響を受けており、常に基礎の大切さを教えてくれていました。このセミナーでも、基礎を徹底的に学ぶ機会が多くありました。日本の柔道の本質を理解すること、そして柔道の精神をどのように捉えるのかを学ぶことはとても重要だと改めて強く感じました。研修先の多様さにも大変感動しました。個人道場、中学、高校、ナショナルトレーニングセンター、大学など、さまざまな場所を見学することで、日本の柔道を年代やレベルの違いごとに理解することができ、日本柔道の全体像をしっかりとつかむことができました。



NIYAZ Osama Bahjat M
ニヤーズ・オサマ・バハジャト・M
サウジアラビア 

このセミナーは、私にとって本当に素晴らしい経験となりました。指導者の先生方から多くのことを学ぶとともに、さまざまな国のコーチの皆さんとともに学び、意見交換ができたことも、大変有意義で楽しい時間でした。最も感銘を受けたのは、セミナーの運営の素晴らしさと、日本人の先生方が共有してくださった深い知識です。細部にまで行き届いた配慮や指導方法は、とても刺激的で学ぶことが多く、強く印象に残りました。セミナーに参加したことで、指導に対する理解がより深まり、柔道の技術や選手育成について新たな視点を得ることができました。今後の指導にぜひ生かしていきたいと考えています。



ISMAILOV Elnur
イスマイロフ・エルヌール
アゼルバイジャン 

このセミナーに参加したことは、私の柔道人生の中でも最も価値のある経験の一つとなりました。日本柔道の根底にある哲学——敬意、調和、そして不断の自己研鑽——を理解する機会でもありました。毎日が刺激と規律、そしてチームワークに満ちていました。最も印象に残ったのは、全体に流れていた前向きで互いを尊重する雰囲気です。参加者は学ぶこと、そして経験を共有することに意欲的で、国の違いを超えた協力と友情の精神を強く感じました。指導における教育的・人間的な側面を、これまで以上に大切に考えるようにもなりました。選手を育てることは、技術を教えるだけでなく、その人の人間性や精神面を育てていくことでもあるのだと理解しました。



PAN NWE Myat

パン・ヌエ・ミヤツ
ミャンマー



SOBIERAJ Wiktor Jerzy

ソビエライ・ヴィクター・イエジ
ポーランド



IWAMOTO Riki

岩本 莉樹
アシスタント・コーチ

特に印象に残ったのは、指導者の先生方の指導方法と、その高い規律意識でした。授業では原理や考え方だけでなく、実践的な体験も取り入れられており、学びの過程がとても興味深く、充実したものになっていました。

特に、集いの場としてふさわしい、清潔で整然としたスポーツ施設の環境が非常に印象に残りました。このセミナーを通じ指導者としての今後の新たな方向性を見いだすことができました。今後は、この研修で得た経験を生かし、ミャンマーにおける柔道の発展に貢献していきたいと考えています。

稽古をするだけでなく、技や指導方法を学び、吸収するために多くの時間が割かれ、日本の文化を学ぶ時間もとても豊富でした。一番感動したのは、藤井裕子先生のトレーニングでした。なぜなら、私の柔道の原点である松原先生との最初の稽古を思い出させてくれたからです。まるで「白紙の状態」の自分に戻ったように感じました。もちろん、光本健次先生のトレーニングも、たくさんの満足感と知識を与えてくれました。

セミナーを終えて、私は柔道の基礎指導に関して、より深い知識を得られたと感じています。自分の理解がさらに深まり、日本のトレーニングスタイルや所作を少し吸収できたように思います。それがとてもうれしく、気に入っています。

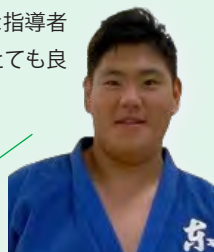
私自身、セミナー参加は3回目でしたが、光本先生の引き出しの多さには今回も驚かされました。過去のセミナーでは見かけなかった新たなアイデアが多くあり、今後、指導法を考えるうえでのヒントをいただけたように感じます。セミナー開始前は、研修生たちをまとめられるか、不安な気持ちとワクワクする気持ちが半々でしたが、いざ始まってみると、あっという間に終わってしまいました。研修生はそれぞれ異なる角度からの感性を持っており、多様な価値観を共有することができたことがとても素晴らしく思えました。終了後は、そこに新たな柔道の輪を広がりを感じました。この輪を大切に、指導者としての人生に活かしていきたいです。

サポート学生

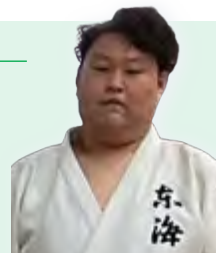


さまざまな国の方と関わることでいろいろな文化に触れることができ、柔道の偉大さを改めて実感しました。また、研修生と一緒にさまざまな指導者の指導方法や考え方を学ぶことができ、とても良い経験になりました。

関 優樹
体育学部武道学科4年



石崎 皇丞
体育学部武道学科4年



花 偉航
体育学部武道学科卒業生



太田 栄士
文学部歴史学科3年



塩谷 颯大
体育学部生涯スポーツ学科3年



岸田 耕平
体育学部武道学科4年

初心者への指導の際、礼節を重視することが海外では当たり前ではないことを知ったことが印象に残りました。研修生たちと会話する中で世界の政情などの課題を知ることができたのも良い経験となりました。

言葉が通じにくくても、柔道を通じて研修生たちと絆を深めていくことができました。幼い頃からやってきた柔道には無限の可能性が秘められていることを肌で実感し、喜びと興奮で心が熱くなる瞬間が何度もありました。

昨年よりも研修生たちと主に英語で会話することができましたが、お互いに柔道をしている人間であるというだけで、言語は違っても、コミュニケーションが取れてしまうことを改めて実感することになりました。



市村 煌大
体育学部武道学科2年

セミナーを通じて、自分の柔道に対する考え方や目標を再確認することができました。研修生たちが研修内容をスマホやノートに記録する姿が印象的でした。その様子を見て柔道には人を魅了する力があるのだと感じました。

昨年よりも光本レッスンに多く参加することができ、柔道の「教育」としての側面をより深く学ぶことができました。選手に考えさせたり、動きの中でコツをつかませたりすることが大切だということが印象に残りました。



VESELI Mustafa / コンボ共和国
ヴェセリ・ムスタファ

週6日、一瞬一瞬を楽しみながら選手指導にあたっています。欧州柔道連盟の役員としても活動しています。



SHRESTHA Debaki Maya / ネパール
シュレスタ・デバキ・マヤ

愛知・名古屋アジア競技大会向け、稽古を重ねる毎日です。オリンピックになる夢も追い続けます。



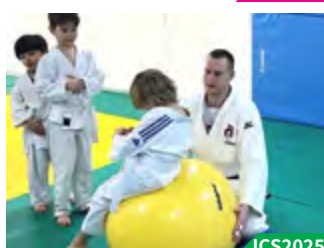
SANCHES Felipe / スペイン
サンチェス・フェリペ

海外での新たな指導機会に向けて準備中。スペイン国内でも経験を共有していきたいと考えています。



CIGURS Antons / ラトビア
チグルス・アントン

若い選手の指導をしながら、国際大会の運営に携わり、大規模なボランティアチームをまとめています。



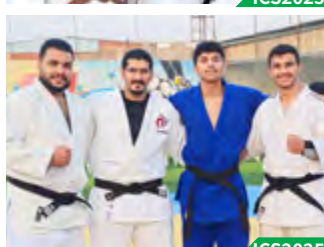
SOBIERAJ Wiktor Jerzy / ポーランド
ソビエライ・ヴィクター・イエジ

セミナーで得た学びを活かし、これまで以上に細部へ目を向け、基礎を大切にしている指導をしています。



LESCINSKIS Aleksandrs / ラトビア
レシンスキス・アレクサンドルス

2026年に行われたラトビアベテランズ柔道オープン選手権で優勝しました。JUDOの柔道衣を着て出場しました。



Ali ALQAHTANI / サウジアラビア
アリ・アルカフタニ

サウジアラビア各地の村や町で柔道指導や演武を行い、地域の子供たちへ柔道文化を広める活動を続けています。



MOUROU Carl Randale Tanguy / ガボン
ムールー・カール・タンギ

私のふるさと、オートオグエ州フランスヴィルの村で、初めて柔道大会を開催することができました。



ALLAHVERDIYEV Asiman / アゼルバイジャン
アッラーベルディエフ・アシマン
SAFAROV Orkhan / アゼルバイジャン
サファロフ・オルハン

日本で学んだ知識や経験をアゼルバイジャンの柔道指導者と共有するため、定期的にコーチングセミナーを開催しています。



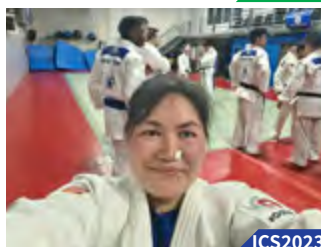
GARBACIK Bartlomiej / ポーランド
ガルバチク・バルトロミエイ

スポーツスクールでコーチをしながら、シロンスク県柔道協会の教育委員長として指導者育成を行っています。



PAN NWE Myat / ミャンマー
パン・ヌエ・ミヤツ

愛知・名古屋アジア競技大会へ向け選手指導をしながら、柔道を知ってもらうための活動をしています。



REZAYEE Friha / アフガニスタン出身
レザイー・フリバ

カナダで非営利団体「Women Leaders of Tomorrow」を設立。アフガニスタンの女性や少女の教育支援と、次世代の女性リーダー育成に取り組んでいます。



ASHIDA Shoki / 日本
芦田 将輝

JICA海外協力隊としてブータンで柔道指導を行い、青少年と現地コーチの育成、日本文化の発信に取り組んでいます。



YOKOYAMA Tomoe / 日本
横山 智恵

コソボ柔道連盟ナショナルチームコーチとして、日本での経験を生かし幅広い世代の育成に励んでいます。



IWAMOTO Riki / 日本
岩本 莉樹

JICA海外協力隊員としてバヌアツに派遣されています。柔道を通じて日本との架け橋となるよう活動しています。



TABATA Shotaro / 日本
田畑 翔太郎

JICA海外協力隊員としてパラオで活動。初代の柔道隊員として、前例がない中での難しさもありますが、子どもたちを中心に指導し、柔道の普及に取り組んでいます。

アシスタントコーチ 岩本莉樹を3カ国に派遣

派遣先／派遣期間

バングラデシュ／2026年7月10日～9月3日

フランス／2026年9月4日～10月4日

ホンジュラス／2026年11月4日～11月14日

派遣 岩本 莉樹 (ICS2025 アシスタントコーチ)

活動内容 技術指導・合同練習・交流活動



厳しい稽古を重ねるうちに選手たちはどんどん成長していきました

昨年のICSアシスタントコーチを務めた岩本莉樹さんは、ICSの前後に3カ国で柔道指導を行いました。バングラデシュからフランスへ直行するなどハードな日程をこなし、たくましい指導者へと成長しました。



岩本 莉樹

バングラデシュ 行動が意識を変える過程を目撃

南アジア大会へ向けての短期コーチとして派遣されました。金メダル獲得という大きな目標があったことから、規律ある練習が必要だと考え、それまで習慣になかった道場の掃除を毎日するところから始め、計画的に行動することの大切さを伝えました。すると練習への取り組み方が変わり、選手もコーチも少しずつ変化していきました。ベンガル語も英語もうまく話せない私を信頼して指導を任せてくれたことに感謝しています。日々の行動が意識を変え、意識がチームをつくる。その過程を見ることができ、私にとっても大きな学びとなりました。

フランス 柔道を見る目が肥えている！

1カ月で19都市を巡回指導するという経験をさせていただきました。大切にしたのは美しい日本柔道の魅力を伝えるため、しっかりと組み合い、良い姿勢で技をかける正統派と呼ばれる柔道をするということです。指導対象は子どもから大人の指導者までさまざまでしたが、きれいに技が決まると「Très bien!」などと言って喜んでくれました。フランスの皆さんの柔道に対する熱量はものすごく高く、柔道を見る目が肥えていることがよくわかった1カ月間でした。訪問先では観光したり、ホームステイをさせてもらったり指導以外でも充実した日々でした。



ホンジュラス 柔道が青少年の未来を拓く！

「柔道で治安改善」に取り組むJICAホンジュラス事務所から招かれた中村美里先生のアシスタントとして訪問し、小学校や警察学校、ジャパンカップなどで活動しました。JICAの取り組みによって基本が身についている子どもたちがいた一方、芝生の上で稽古をしていたという学校もあると知り驚きました。訪れる前は治安面に不安があり、怖い人ばかりなのではと思っていましたが、そんなことはなく、市民は皆、安全な暮らしを願っていることがよくわかりました。これから派遣されるバヌアツに向けてこのうえない貴重な経験をすることができました。



中村先生、JICAホンジュラス事務所職員の方と一緒に！

世界をつなぐ 柔道の輪

Connecting the World
Through Judo



フランス指導者研修

フランス柔道連盟と東海大学体育学部およびスポーツプロモーションセンターの共催による「指導者研修」が東海大学湘南校舎で行われ、本法人は運営サポートにあたりました。



平塚柔道協会(上)、立花学園高校でも研修を行わせていただきました

受入期間 2026年4月19日～24日

依頼者 フランス柔道連盟

参加者 フランスの柔道指導者27名

支援内容 柔道実技指導、講義、出稽古、剣道体験、宿泊所、移動方法の手配

東海大学での講義では上水研一朗先生、中矢力先生、今井優子先生、卒業生の高藤直寿さんが講師を担当したほか、剣道指導法の特別授業やスポーツ医科学研究所の人工環境制御室(暑熱・常圧低酸素室)「H³-Lab.」などの最先端研究施設の見学を実施。最終日に修了証を授与しました。



イタリア指導者研修



受入期間 2025年12月1日

依頼者 イタリア柔道連盟

参加者 イタリアの柔道指導者7名

支援内容 柔道実技指導の手配

中矢力先生が講師を務め、「体落」の指導が行われました。複数のバリエーションを繰り返しながら、一人ひとりの動きを丁寧に修正。サポートに入った学生の力も借りながら、技を深く理解する充実した講習となりました。



アゼルバイジャン指導者研修



受入期間 2026年6月7日～15日

依頼者 アゼルバイジャン柔道連盟

参加者 アゼルバイジャンの柔道指導者7名

支援内容 柔道実技指導や柔道研修先の手配

アゼルバイジャン柔道連盟のマイク・カレン教育委員長の依頼により、日本の柔道教育について学ぶための研修を実施。東海大学をはじめ、松前柔道塾、朝飛道場、大青道場クラブを訪問し、子どもから大学生まで幅広い年代の指導方法を学びました。

ノヴルゾヴァ・マリヤさんの感想

「幼稚園児や小学生の指導が印象に残りました。子どもたちが楽しみながら練習に取り組み、自然とやる気を引き出す指導方法は素晴らしいと感じました」



中国・南京選手受け入れ



受入期間 2025年8月31日～9月30日
依頼者 中国・南京柔道協会
受入 王珍彭選手
支援内容 柔道研修の手配、滞在先調整

日中友好南京柔道館の分館溧水柔道館から王選手が来日。東海大学柔道部の練習参加に加え、光本健次本法人国際担当師範による個別指導を実施。同大学付属高輪台高校や同相模高校の出稽古におじゃましました。学生と寝食を共にすることで、相互理解を深めました。



ポーランド指導者派遣



派遣期間 2025年9月16日～25日
依頼者 東海大学
派遣 穴井亮平教諭
 (同大学付属熊本星翔高等学校)

東海大学付属高校柔道海外研修団がザコパネ市で開催された国際柔道キャンプ「BOSEI Training Camp- Reach for the Stars-」に参加。本法人は引率教員の渡航滞在費を支援しました。研修団は小学校での交流やアウシュビッツでの平和研修も行いました。



中国・山東省に選手を派遣



派遣期間 2025年10月21日～11月5日
依頼者 中国・山東省柔道協会
派遣 森田和志さん(日本製鉄)、小嶋洸成さん(ALSOK)

山東省主催の強化合宿に参加。生活を共にして国際交流を図りながら稽古を重ねました。

森田選手の感想 「選手からたくさん質問を受け、柔道が好きで強くなりたいという気持ちが伝わってきました。期間中は何不自由なく生活できました。ありがとうございました」



安全な転び方国際カンファレンス

第3回柔道の動きを使った安全な転び方の国際カンファレンス(The 3rd International Consensus Conference on Safe Falling for Older People through Judo)が開催され、本法人は運営を支援しました。

実施期間 2025年12月12日～14日
会場 東海大学湘南キャンパス
主催 英・ハートフォードシャー大学、英・Judospace Ltd
共催 東海大学体育学部
公認 国際柔道連盟
支援内容 学会運営全般(実施に関する事務手続、プレゼンテーション補助、参加者の滞在手配等)



カンファレンス・スケジュール

第1日目 (午前) プレゼンテーション、(昼) 大学キャンパスツアー、(午後) プレゼンテーション
第2日目 (午前／午後) 柔道場で実技とディスカッション
第3日目 (午前) 柔道場で実技とディスカッション、(午後) 修了式

今年もマイク・カレン氏(ハートフォードシャー大学)が中心となって呼びかけが行われ、11カ国から転倒予防に関する研究者や柔道関係者、学生など約70人が参加。各国の受け身研究の最前線や推進に向けた取り組み事例が発表とデモンストレーションによって共有されました。開始式では東海大学の内山秀一体育学部長が「世界的に高齢化が進むなか、いかに高齢者の健康な生活を

守るかは、私たちの共通課題です。ここに集まった皆さんのネットワークが課題解決に向けた力になることを期待します」と挨拶。3日目には本法人の光本健次国際担当師範が、アシスタントの岩本莉樹さんとともにレベル別の受け身講習を実施しました。学会開催にあたり本法人は、準備段階から学会運営全般を担当。学生や卒業生の力を借りながら、きめ細かい支援を実施しました。

JUDOsエクササイズを開催



開催日 ①2025年7月26日

②2026年6月20日

対象 ①東海大学職員等一般の方々25名

②東海大学職員等一般の方々8名

講師 ①大村康太

②朝飛太陽(JUDOsアシスタントコーチ)

柔道の動きを採り入れ、気軽に体操を行う「JUDOsエクササイズ」を2回行いました。いずれも楽しく体を動かしながら、技を掛けたり、受け身を取る柔道の基本まで行い、参加者からは大好評でした。東海大大学関係者だけでなく、近隣地域や遠く千葉県からの参加者がいたことも収穫でした。

参加者の感想 「日頃の運動不足が解消できました」(2025年7月)

「投げられたことだけでなく、受け身を経験する良い機会になりました」(2026年6月)

第8回通常総会を開催

開催日 2026年6月9日

会場 東海大学湘南キャンパス12号館

参加者 82名

(うち出席者25名、書面評決者57名)

2026年6月9日、神奈川県平塚市の東海大学湘南キャンパス12号館にて第8回通常総会を開催しました。通常総会には82名(うち出席者25名、書面評決者57名)が出席しました。議長には山口輝義氏が選任され、議長および議事録署名人には小澤浩子氏、庄司由利氏が全会一致で選ば

れ、審議に入りました。

審議では、鈴木事務局長より第1・2号議案として2025年度事業報告および決算報告について説明があり、矢野英克監事による監査報告の後、全会一致で承認されました。続いて、第3・4号議案である2026年度事業計画および2026年度活動予算について審議が行われ、いずれも原案どおり全会一致で可決されました。

また、第5号議案では理事・監事の選任について、第6号議案では給与規則の改定について審議が行われ、いずれも全会一致で可決されました。



審議事項

第1号議案	2025年度 事業報告
第2号議案	2025年度 決算報告
第3号議案	2026年度 事業計画
第4号議案	2026年度 活動予算
第5号議案	理事・監事の選任
第6号議案	給与規則の改定

※ 総会資料は、JUDOs公式ホームページに掲載しています。

ニュースタッフ紹介！

どうぞよろしくお働いていただきます！



庄司 由利
SHOJI Yuri

JUDOs発足当初よりサポートスタッフとして参加させていただいておりましたが、本格的に関わっていくことになりました。主に受入事業を担当します。柔道を通じた海外交流で少しでも世界がより良い方向に向かうことを願って活動を頑張ります！ みなさん、よろしくお願いたします。



朝飛 太陽
ASAHI Taiyo

柔道を通じた国際交流を積極的に行い、柔道が日本と海外をつなぐ架け橋となれるようにサポートしていききたいと思います。柔道の魅力や価値を国内外の多くの人に伝え、JUDOsの活動を通じて人とのつながりを広げていきたいです。



隅田 直子
SUMIDA Naoko

こんにちは、4月よりJUDOsの一員となりました隅田と申します。これまで関わったことのない国々とお付き合いをさせていただいて、楽しくお仕事をさせていただいています。学ぶことが多い職場なので頑張ります！



平沼 大和
HIRANUMA Yamato

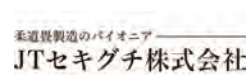
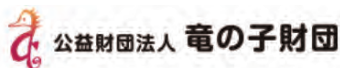
海外での柔道指導を通じて得た経験や、英語・ミャンマー語などの語学力を生かし、現場で本当に必要とされる活動を考え、実現していきたいと思っています。まずは自分にできることから一つずつ取り組んでいきます。

支援者一覧

List of Supporters



BEANS INVESTMENT



学校法人東海大学、外務省、公益財団法人全日本柔道連盟、

羽田タートルサービス株式会社、株式会社BEANS INVESTMENT、ロジオス株式会社、

信越化学工業株式会社、秀和ビルメンテナンス株式会社、新潟総合警備保障株式会社、ALSOK宮崎株式会社、ALSOK株式会社、

笑顔道グループ、株式会社新潟クボタ、株式会社フジキン、ベステラ株式会社、株式会社ゲン・テック・ホールディングス、

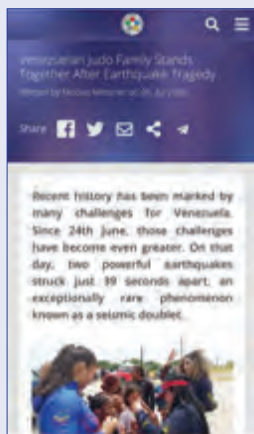
公益財団法人竜の子財団、興徳ホールディングス株式会社、株式会社榮林、株式会社ヴァンガードスミス、日中友好青島柔道館、

株式会社JUDOGI、株式会社柔JAPAN、石井化成工業株式会社、JTセキグチ株式会社、

株式会社アットライズ、株式会社デフィール、株式会社九櫻、八洲港運株式会社、株式会社アズコミュニケーションズ

株式会社青山、新井運送株式会社、ALSOK静岡株式会社、株式会社Under Cushion、株式会社ヴァンガードスミス、株式会社榮林、株式会社SDH、大峰堂薬品工業株式会社、興徳ホールディングス株式会社、株式会社後藤商事、株式会社三技協、Judospace Ltd、信越放送株式会社、公益財団法人竜の子財団、株式会社テレビ宮崎、東海ウイング株式会社、株式会社東海教育研究所、東海教育産業株式会社、長野電子工業株式会社、新潟県信用組合、株式会社新潟日報社、一般社団法人日中柔道文化研究会、日中友好青島柔道館、公益社団法人日本柔道整復師会、株式会社ヌママタ、株式会社浜友E.F.、ヒューマンズ・ネット株式会社、フランス柔道連盟、株式会社宮崎太陽銀行、宮崎みどり製菓株式会社、武蔵野市柔道連盟、明和地所株式会社、株式会社洋華堂、ヨシモトポール株式会社、東隆体育文化侍藩有限公司

50音順



支援活動の様子はIJF ホームページでも紹介されました

NEWS アンリケリス・バリオス選手(ベネズエラ)

母国・ベネズエラの大規模地震で支援活動を実施

2024年までIOC／OS奨学生として競技生活を送り、本法人が日本滞在中の活動を支援していたアンリケリス・バリオス選手は、2024年のICSアシスタントコーチを務めたのち、12月に母国・ベネズエラに帰国。その後も、国内外の大会に出場し、選手生活を続けています。2026年6月24日に同国中北部で発生した大規模地震の直後には、支援活動を実施したということです。そのときの状況と今後についてアンリケリス選手から次のような連絡が入りました。

「被災地はまるで戦争映画のような光景が広がっていました。(地震に見舞われた)ラ・グアイラ州にある2つの柔道場は倒壊し、多くの子どもたちが家を失い、現在はテントで生活しています。被災地で最も必要とされているのは、衛生用品などの生活必需品です。私は大会に出場しながら、被災した子どもたちへの支援活動を行ってきたいと思っています」
本法人では、現地との連絡を継続し、状況に応じた支援を検討していきます。

JUDOsでは、不要になった柔道衣を集め、海外にお送りしています！

ご送付方法

洗濯した柔道衣を上下と帯をできる限りセットにして、JUDOs事務局までお送りください。色帯も必要としている国がありますのでお送りください。

洗濯済みの柔道衣



白帯・色帯



ご協力をお願いいたします



注意事項

- 着払いのご送付はご遠慮ください。着払いで送られてきた場合は受け取ることができません。
- 5号以上の柔道衣は受け付けていません(寄贈先は小さいサイズを必要としているところが多いためです)。
- 破れていたり、汚れがひどい柔道衣や空手着等はご送付をお控えください。場合によっては着払いで返送いたします。
- 有段者であることを示す黒帯は受け付けていません。



認定特定非営利活動法人 JUDOs

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学 柔道研究室



info@judos.jp



https://judos.jp



@npojudos



@npo.judos.official

JUDOs 入会のご案内

JUDOsは柔道を通じて世界中の人々をつなぐ活動を草の根で行っています。
運営には皆さまの継続的なご支援とご寄付が必要です。下記口座へのお振り込みをお願いいたします。



寄 付	3,000円～
個人会員	一口 10,000円
団体会員	一口 100,000円

寄付は税額控除の対象です
詳細は内閣府NPOホームページでご確認ください

個人・団体会員は総会での議決権があります

みずほ銀行 秦野支店

口座番号 店番号383 普通3004793
口座名義 特定非営利活動法人JUDOs
トクヒ) ジュウドウズ

横浜銀行 東海大学駅前支店

口座番号 店番号663 普通6240198
口座名義 特定非営利活動法人JUDOs 理事 井上康生
トクヒ) ジュウドウズ

ゆうちょ銀行 秦野東海大学前

口座記号番号 00210-9-141500
口座名義 特定非営利活動法人JUDOs
トクヒ) ジュウドウズ

ゆうちょ銀行 他行からの振込

店名 029 当座0141500
口座名義 特定非営利活動法人JUDOs
トクヒ) ジュウドウズ